

60点の夫婦でいいののにの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	60点の夫婦でいいののにの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	60点の夫婦でいいののにを読んだことのある20代～50代の男女43名
調査期間	2025年5月20日～2025年5月27日 2025年6月12日～2025年6月13日 2025年7月16日～2025年7月17日 2025年8月7日～2025年8月8日 2025年9月12日 2025年10月10日 2025年11月14日 2025年12月12日 2026年1月9日 2026年2月20日 2026年3月13日 2026年4月10日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/60tenohuhudeiinoni/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 60点の夫婦でいいののにを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	3人
30代女性	4人
40代男性	6人
40代女性	17人

50代男性	13人
50代女性	0人

Q2:60点の夫婦でいいのの感想を教えてください。

『60点の夫婦でいいの』1巻	<p>近所で暮らす専業主婦の円佳さんが凄く気になりました。一見すると美人だし性格もよいしと素敵な女性です。でも陰で浮かべている笑顔とか怪しいですし、よからぬことを考えていそう。円佳さんが今後どういう行動を起こすのか気になりました。沙紀さん夫婦に関しては、沙紀さんにイラッとしました。暴言を吐き続ける尚弥さんは最悪ですけど、それを助長させているのは言われっぱなしになっている沙紀さんなんですよ。もう少ししっかりして欲しいって感じました。</p>
『60点の夫婦でいいの』1巻	<p>なんにも手伝ってくれないのに、すべてに点数をつけてくる夫との生活なんて相当息苦しいだろうなと感じました。そんな扱いをされても怒らないなんて、沙紀さんの忍耐強さには脱帽です。そして円佳さんの意味深な発言や、尚弥から連絡を受けて差し入れを持ってきたあたりから、この二人は不倫関係にあるのではないかと思います。</p>
『60点の夫婦でいいの』1巻	<p>結婚前は優しかった尚弥が、パートとして働きながら育児もこなす沙紀のことを、あらゆる場面で100点満点で評価してくるところにイラッと来ました。特に、風邪をひいた娘の看病で食事作りや頼まれていたアイロン掛けができなかったことを責め、こともあろうに同じマンション内に住む不倫相手の円佳にわざと食事を持ってこさせ、沙紀の妻のとしての出来を批判する態度には、ムカつきが止まりませんでした。</p>
『60点の夫婦でいいの』2巻	<p>円佳ママのマウントの場面が本当にむかつきますね。あんな言い方されたら誰だって気分が悪くなります。でも紗希がその言動に我慢している感じが健気でいいですね。あそこで言い返すと紗希まで、なんだが嫌な感じに映るのであの対応で良かったと私は思います。この2人が実は因縁の関係だと分かるのでその展開も面白いです。</p>
『60点の夫婦でいいの』2巻	<p>尚弥から100点だと言われた円佳のことを、娘が転んだときにすぐに絆創膏を貼ってくれるなど、一時は納得できると感じたものの、実は娘はケガなどしていなくて絆創膏を貼る必要もなかったことや、同じキャラクターの絆創膏をなぜか尚弥もお腹に貼っていたことから、沙紀が2人の関係を怪しく思い始めるところにドキドキしました。それを確認しようとする沙紀に対し、チクチク嫌味をいってマウントを取る円佳に、一緒に復讐してやりたい気持ちがムクムク湧いてきてしまいました。</p>
『60点の夫婦でいいの』2巻	<p>夫尚弥の妻沙紀に対しての態度、尚弥の浮気やモラハラ、不倫相手の円佳、それぞれにムカムカした感情が沸き上がってきます。それだけに、第2巻で始まる沙紀の復讐劇には感情移入ができますし、読みながら沙紀を応援してきたくなります。私は男性ですが以前の沙紀と同じ立場だったので、自分に当てはめて考えると余計に共感しなくなってきました。必然的に次の展開が気になって仕方ありません。</p>
『60点の夫婦でいいの』3巻	<p>不倫してることに気が付いてから命令に従うのをやめた主人公。夫婦は対等な関係。もっと前から命令に反発してもよかったのでは。こんな夫と子供を育てても子供に悪影響を及ぼすだけ。言わなくても子供はちゃんと分かっているものです。それよりはお母さんが楽しそうに笑顔でいる方が全然いい。離婚の決意をして本当によかった。</p>
『60点の夫婦でいいの』3巻	<p>陽菜ちゃんの「ハナマル」発言に思わずウルツとしてしまいました。ママ友さんたちも味方になってくれそうで良かったです、ただ離婚するだけでなく、できれば尚弥のほうに原因があるということをはっきりさせる形で別られるよう、沙紀さんには立ち回りを頑張してほしいと思います。ラストで登場した円佳さんの旦那さんがキーパーソンになりそうだなと思いました。</p>
『60点の夫婦でいいの』3巻	<p>尚弥と円佳の関係を知ってしまった沙紀の様子に気づいた娘から、ママははなまると言われ、ママ友にさり気なく尚弥のことを相談したのがきっかけで、マンション内から0点夫として噂されると</p>

	<p>ころにスッキリしました。それどころか、そのことに対して怒りをあらわにしてきた尚弥に、自分は100点の妻は目指さないと切り切るところや、円佳の夫に話を切り出すところに、復讐へのゴングが鳴った気がしました。</p>
『60点の夫婦でいいのに』4巻	<p>前回のエピソードでは離婚を考えていた沙紀でしたが、やはり子どものことも考えていろいろ葛藤しているのが伝わってきました。そんな苦悩も知らず、夫は相変わらずモラハラを続けているので、早く酷い目にあえと思いながら読んでいる自分がありました。ただ今回のエピソードからは、沙紀に味方が増えるなど希望のある場面もあるので、これからも見届けたくくなりました。</p>
『60点の夫婦でいいのに』4巻	<p>なんでここに円佳がやってくるのかと歯がゆい思いをしましたが、なんとか彼女の夫に不倫の事実突きつけることができ、なにもまさか驚きもしない。何度も繰り返していたとは。確かに離婚というのは社会的影響も大きく、仕方ないとあきらめる人もいるでしょう。そんな夫ですが、証拠写真撮る協力をしてくれてよかったですね。</p>
『60点の夫婦でいいのに』4巻	<p>まさか知っていてスルーしてたとは。彼が手綱を締めてくれたら更に不倫されて沙紀に悪影響を及ぼすことはなかったのですが、しょうがありません。彼はそういった道を選んだのですから。ほんと、夫婦の在り方ってさまざまですね。そして表面的には分からないという。不倫写真撮ることができたのですから反撃開始となるのでしょうか。</p>
『60点の夫婦でいいのに』5巻	<p>不倫された仲間、お互いに気持ちの分りあえて良いことです。一人で悩んでると暗く暗くなっていったいいますから。それにしても、人それぞれに不倫に対する受け止め方は異なるものですが男性だと親権が取れない。そのあたりも気にしないといけないので大変ですね。陽子のアドバイス、ナイス。持つべきものは不倫について詳しい仲間たちです。</p>
『60点の夫婦でいいのに』5巻	<p>不倫された側は被害者。とはいえ今も母親神話というか、女性の側が親権を取るべきといった考え方は強いんですね。だから不倫されて即離婚とはいかない男性側。いろいろと勉強になりました。それにしても、泉といい洋子といい、いい仲間が増えました。一人で悩んでたら出てこない解決策も見つかるはず。そしてまんまと証拠をつかまれる尚弥はざまあみろです。</p>
『60点の夫婦でいいのに』5巻	<p>とにかく尚弥が、そして円佳がクズすぎてむかつきます。ですが爪の甘さもある二人、動かぬ証拠をつかんだ沙紀、よかったですね。スカッとできました。でも証拠をどう生かすかは人それぞれなんですね。こんなクズでも母親である以上は円佳が親権を取る可能性がある。男って不利です。これからどうなるのか、泉の方も心配です。</p>
『60点の夫婦でいいのに』6巻	<p>娘である陽菜がどこにもいないことに動揺している紗希の姿が印象的でした。でも夫の尚弥が全く陽菜を探そうともしないのでその言動には腹が立ちましたね。ちゃんと父親としての自覚は本当にあるのでしょうか。その辺が尚弥には欠けているようで本当に嫌になりますね。紗希が彼に対して愛想をつかす気持ちがよりわかりました。</p>
『60点の夫婦でいいのに』6巻	<p>こんな夫本当にいるのでしょうか。そのくらい尚弥の言動には目に余る行動が多いです。娘のことをちゃんと見てもいないで1人スマホに夢中になっているだらけた姿にイライラしましたね。紗希1人が陽菜の心配をしている感じでその光景には本当に不思議でなりません。結局陽菜は見つかるので安心しましたが親からしたら本当に不安ですよ。その感じがより深く伝わりました。</p>
『60点の夫婦でいいのに』6巻	<p>どんなに冷たい人間でもいい。せめて子供が行方不明になった時くらいは取り乱してほしい。夫の最低さが浮き彫りになった事件でした。浮気はまだわからないでもない。人を好きになる気持ちを止めることなどできない。ですがこれは、人として最低。スマホで遊んでる場合じゃありません。こんな奴の元にいたら子供もおかしくなる。</p>
『60点の夫婦でいいのに』7巻	<p>紗希の尚弥に対しての冷たい顔が最高ですね。今まで気の弱い紗希でしたが、その面影はもうありません。それどころか尚弥よりも強い立場にいる感じがすごく爽快ですね。今までの尚弥の行動にむかっている感じが紗希のオーラから滲み出ていたのでその部分が本当に良かったです。早く離婚してほしい気持ちでいっぱいですが、陽菜のこともあるので簡単にはいきませんよね。</p>

『60点の夫婦でいいのに』7巻	この作品のメインキャラの尚弥は本当にクズな性格をしていますね。不倫関係である円佳に飽きたとか言い出す始末で一体何様なんだと思いますね、そんな言動を繰り返しているのが本当に罰が下ってほしいと常に考えてしまいます。紗希がそんな彼に天誅を加えてくれそうな雰囲気を感じてほしいと常に考えてしまいます。紗希がそんな彼に天誅を加えてくれそうな雰囲気をひしひしと感じられるのでそこがとても面白いです。
『60点の夫婦でいいのに』7巻	この作品の何が面白いかというとキャラ達のセリフの応酬がわかりやすく面白いです。紗希が尚弥に対して強気な態度で接する姿に言い知れない爽快感があって本当にいいですね。個人的に紗希がクールな顔で尚弥に迫っているシーンは最高です。尚弥が言いくめられて悔しそうにしているのが本当に見応えがあってかなりドキドキします。
『60点の夫婦でいいのに』8巻	これまで溜め込んできた鬱憤をすべて晴らしてくれた。そんな展開で、今回はすごく面白かったです。まず尚弥と円佳の公開処刑シーンにはスカッとしました。これまでの態度から、どちらもギャフンと言わせたいと思っていたんですね。離婚を突きつけられて落胆する姿は気持ち良すぎました。その後の展開も良かったです。沙紀も宗一郎も無事離婚することが出来ましたし、穏やかな生活を送れるようになっていました。この二人には幸せになって欲しいと感じていただけに、本当に良かったです。一方尚弥と円佳の末路は悲惨なものに。見事なザマア展開になっていて、面白かったです。
『60点の夫婦でいいのに』8巻	沙紀が無事離婚できたことに加えて、円佳も因果応報できっちり離婚されたので、解決して良かったと喜ばしい気分を味わっていたら、まさかの泥沼展開の再来にとってもびっくりしました。後は沙紀と陽菜が幸せになるだけだと思っていたのに、陽菜と梨佳が大人になって、しかも今度は梨佳が不倫された側になってしまうなんて、不幸の連鎖からは逃れられないのかとゾッとしました。
『60点の夫婦でいいのに』9巻	間が深すぎる展開でした。そう感じさせたのは、陽菜から瑛次のスマホに入ったメッセージです。それまで梨佳と陽菜の関係は微笑ましいものだと感じていたのですが、メッセージを見た瞬間ゾッとしました。陽菜は梨佳と仲良くしているように感じましたが、もしかするとずっと梨佳を恨んでいた可能性があります。自分の家庭が壊されたように、今度は梨佳の家庭を崩壊させてやるつもりなのではと妄想してしまいました。
『60点の夫婦でいいのに』9巻	沙紀が主人公の復讐物語としては、尚弥と円佳が不倫したことをみんなの前で暴露して2人の評判を落とす展開にスカッとしましたが、公にしたせいで梨佳がひどいひどい扱いを受けていたことが判明して、これぞまさに負の連鎖だと感じて胸が痛みました。本当に陽菜が瑛次の不倫相手だとしたら辛すぎるので、勘違いであってほしいです。
『60点の夫婦でいいのに』10巻	先の読めない展開でした。最初は陽菜と瑛次が不倫しているのではと感じたのですが、回想シーンを見る限り陽菜が不倫しそうな女性には思えません。そう考えていた矢先、陽菜から爆弾発言が飛び出します。この瞬間、もしかすると陽菜は捜査的なことをする為に瑛次のスマホへメッセージを入れていたんじゃないかって思ったんですね。実際のところはどうか、次の展開が気になりました。
『60点の夫婦でいいのに』10巻	瑛次の料理に対するモラハラ発言シーンは、尚弥を彷彿とさせてゾッとしました。沙紀が辛い思いをしていたのをすぐそばで見てきた陽菜が不倫をするとは思えないのですが、状況的にはかなりあやしく感じられるので、はやく真実が知りたいです。陽菜には負い目があるからこそ、疑いたくないけど疑ってしまう梨佳の苦しみ伝わってきて、同情してしまいました。
『60点の夫婦でいいのに』11巻	瑛次の不倫相手が陽菜でなかったことに驚きました。ただ、ついぞとってはなんですけど瑛次をメッセージアプリでやり取りをしていたかどうか確認した方が良かったですね。もしかするとメッセージのやり取りをしていたのは陽菜ではなく、名前を変えて偽装工作していた可能性もあるので。気になったのは新登場した姫ちゃんです。今回の話だけでも、どんな性格をしてそうなのかは十分伝わってきました。瑛次との会話から察するに不倫はすでにしてそうな雰囲気でしたし、証拠をつかんでキッチリ制裁して欲しいです。

『60点の夫婦でいいのに』11巻	親戚の優しくカッコいいお兄さんに淡い恋心を抱いていて、彼のお嫁さんに対してつい嫉妬してしまうくらいなら許容範囲だと思うのですが、姫奈の態度からは悪意が感じられて、瑛次のことが純粋に好きというよりは、他人が大切にしているものを奪うことに快感を覚えているように見えるので、腹が立ちました。でも陽菜が瑛次の不倫相手ではないとハッキリしてホッとしました。
『60点の夫婦でいいのに』12巻	沙紀の不倫騒動が何故起きたのかわかってスッキリしました。今は沙紀達の娘世代の話になっていますが、幸せな結婚生活を送っている円佳が何故そのような行動に出たのか気になっていました。幸せそうに見えても、円佳は心の中に闇を抱えていたことがわかり、納得できました。気になったのは梨佳の策略です。沙紀のやり方を参考にしただけあって、瑛次たちは見事に騙されてしまいました。決定的な証拠を掴むその瞬間が待ち遠しいです。
『60点の夫婦でいいのに』12巻	11巻で梨佳に対して陽菜が沙紀に相談したらどうかと提案した際、さすがにそれは梨佳だけでなく沙紀も気まずくてイヤなのではないかと思ったので、複雑そうな表情を浮かべることもなく、冷静かつ穏やかな態度で梨佳の話の聞いている沙紀を見て、人間ができていなど感心してしまいました。沙紀の人柄の良さを理解しているからこそ、梨佳も罪悪感を乗り越えて沙紀に相談すると決めたのだろうと思いました。
『60点の夫婦でいいのに』13巻	これまでの瑛次は気のいい人という印象が強かっただけに、驚きました。何等かの事情があって姫奈と関係を持ったと思いきや、ここまで悪質だったとは。結婚に向いていない男性だなんて感じました。気になったのはラストシーンです。これは姫奈の妊娠を示唆したものとも言えるでしょう。姫奈は不倫の証拠を握られているわけですし、すんなり瑛次と再婚なんて出来そうもありません。どんな結末を迎えることになるのか注目したいです。
『60点の夫婦でいいのに』13巻	見た目はいかにも優しそうなのに、心の中では自分以外の人間を全員見下しているとか思えない腹黒すぎる瑛次の内面があらわになって、彼に対して嫌悪感を抱きました。きっと瑛次は梨佳のことだけじゃなく、姫奈のことも愛しているわけじゃないんだろうと感じました。また、そんな瑛次の性格を承知の上で、それでも彼のことが好きで、子どもまで作ろうと画策している姫奈も、思っていた以上にヤバイ子だなと思いました。
『60点の夫婦でいいのに』14巻	サイン会での梨佳が微妙だっただけに、後半はワクワクしました。不思議だったんですよね。あれだけ気負ってサイン会へ臨んだというのに、あれだけで済ませたことが。あの場で秘密を暴露するのかと思っていただけに、正直拍子抜けでした。でもそれはLive配信でやり直すという算段があったからこそだったんでしょうね。真顔で淡々とメッセージを打ち込んでいく姿には鬼気迫るものがありました。不倫を暴露されれば、大炎上することは必至。どこまで燃え上がるのか楽しみです。
『60点の夫婦でいいのに』14巻	梨佳から姫奈との不倫について問い詰められた際、瑛次が上から目線で開き直ったりせず、甘い言葉を吐いてごまかそうとしたのが意外でした。瑛次はどうやら梨佳と本当に別れるつもりはないようで、それを姫奈が知ったら逆上して暴走しそうで恐ろしいです。また、決定的な不倫の証拠写真を梨佳から突きつけられたにもかかわらず、焦るところか勝ち誇っていた姫奈にはムカッとしました。
『60点の夫婦でいいのに』15巻	梨佳は本当にすごいですね。不倫動画を流しただけなら、何とか言い訳をすることもできたかもしれませんが。あざとい姫奈なら、それくらいはやり遂げた可能性も十分にあります。しかしここまですれば、もう取り繕うことは不可能でしょう。社会的に二人を抹殺する手腕は見事すぎました。姫奈は少し気の毒に感じました。もちろん不倫行為は許されるものではありませんし、梨佳への態度も最悪だったとは思いますが、でも、姫奈をそのようにさせたのは瑛次でしょう。もし瑛次が姫奈ときちんと向き合っていれば、このようなことにはならなかったのではと感じました。
『60点の夫婦でいいのに』15巻	不倫女がうわ〜んと泣き出すシーンがあるのですが、個人的にはここがすごくツボでした！いかにもなぶりっこだけど、別によく見ると可愛いわけでもない。そういう、不倫女のデザインとして満点ではないでしょうか。ライブ配信中に流れるコメントが二人に対してキツイのもすごくスッキリ！ここまで我慢して読んできたので、とても気分爽快なお話でした。
『60点の夫婦でいいのに』16巻	姫奈は本当に恐ろしい存在です。梨佳は姫奈達を追い込んでおり、完全に決着が着いたなと思いついていました。しかし、あそこから挽回しようとするとは。咄嗟にあれほどの言い訳と演技ができたことに感心しました。瑛次が裏切ったことで怒りの矛先へ瑛次へと向きましたけど、もし瑛

	次が裏切っていなかったらどうなっていたことか。敵に回してはいけない女性だなと寒気がしました。
『60点の夫婦でいいのに』16巻	動画という言い逃れできそうにない証拠が公開されて、ここまで追い詰められているのに、それでもあきらめずに梨佳を悪者に仕立て上げようとする姫奈を見て、なかなか心が折れないそのたくましさはいつそ尊敬に値するかもと思ってしまいました。また、ここまでメンタルが強いと、どんな目にあつたとしても一切反省はしなさそうだなと思いました。
『60点の夫婦でいいのに』17巻	義母と陽平の対応は酷いと思いますが、陽菜にもイライラしてしまいました。義母から嫌なことを言われたら、ちゃんと言い返せばいいのです。なぜそこまで言いなりになるのでしょうか。夫の陽平に対してもそうです。 陽菜にはもう少し強くなって欲しいなと感じました。一方で、訪ねてきた女性が気になりました。陽平の不倫相手と思われる彼女が何のために来たのか、注目したいです。
『60点の夫婦でいいのに』17巻	評価しなくていい人、なんて最悪すぎますね。義母が気持ち悪いだけでなく、息子はそんな義母のご機嫌取り。ただのマザコンではないのも、さらに気持ち悪さが際立っています。こんな家族、さっさと不倫された慰謝料とって別れてしまえばいいのに。
『60点の夫婦でいいのに』18巻	非常に強力なライバルが現れたように感じました。義母との親しげな様子からは、陽菜よりもこの家に馴染んでいる印象すら受けます。もし陽菜の予想どおり、彩実が院長の娘であるとすれば、その存在はさらに重みを増すでしょう。彩実との関係が、陽平の出世に大きな影響を与える可能性は高く、陽菜が孤立無援の状況に置かれているようにも感じられました。
『60点の夫婦でいいのに』18巻	陽平がどこへ行ったのか気になるところです。喉の渇きやトイレで目を覚ますこと自体は不自然ではありませんが、彩実と密会している可能性も否定できません。果たして真相はどのようなのか。不安と疑念が膨らむ、気になる展開でした。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス